

事業進捗管理シート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 119 事業名 家庭用生ごみ処理容器普及事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
基本方針	1	ごみ減量の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H12	～ H26
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	嶋本 敏雄(435-1352)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	衛生費	
	項	清掃費	
	目	清掃総務費	
	大事業	清掃総務事業	
事項	家庭用生ごみ処理容器普及事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民に対して、家庭から生じる生ごみの自家処理への関心を高めると共に、ごみ減量と再資源化を推進する。	リリクル通信や市報わかやま等を通じて、補助金交付希望者を募集して、購入金額の1/2（上限20,000円）を交付する。 交付の条件として、申請して当選してから購入すること、市内の店舗で購入すること、市税に滞納がないこと、過去5年以内に補助を受けていないことなどを定めている。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		以前実施したアンケートで、生ごみ処理機はごみの減量と堆肥化に大変有効であるとの意見が多数寄せられている。補助人数は減少傾向にあるものの、補助金の交付目的である「家庭から生じる生ごみの自家処理への関心を高めると共に、ごみの減量と再資源化を推進する」はおおむね達成できていると考えており、今年度も同様に補助金を交付する。 今後、交付件数の傾向も視野に入れながら、平成27年度を目途に新たな施策の検討				

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	800	480	800							
伸び率 (%)	-	-	0.0%		-100.0%		-		-	
人件費	常勤職員	829	493	493						
	非常勤職員									
	小計	829	493	493						
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	800	480	800							
所要人数	常勤職員	0.11	0.06	0.06						
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00						
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	応募募集掲載メディア数(リリクル通信・リリクルネット・市報・動画モニター・ツイッター・TV和歌山・和歌山放送等)	年度目標値			5	7			
		実績値			5				
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	
	出前講座回数				年度目標値	100	100		
				実績値	117				
				年度別達成度	117.0%				
成果指標	生ごみ処理容器の補助台数	年度目標値			40	40			
		実績値			24				
	単位	台	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	60.0%		
					年度目標値				
				実績値					
				年度別達成度					